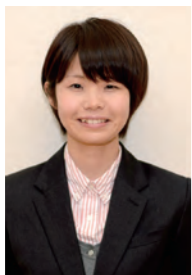




教育 EDUCATION

新規採用の教職員7人が、市内小中学校に

地元で教師になれることが幸せです。責任を持って子どもたちを育てたいです。



三松小学校 宮本 桃衣

事務員として裏方で先生たちをサポートできるように頑張りたいです。



小林小学校 坂之下 直貴

学ぶことの楽しさを感じてもらえる魅力ある指導をしたいです。



小林小学校 渡辺 美寿々

【学校名・氏名(敬称略)・目標】

市内の小中学校に配属された新規採用の教職員7人を紹介します。これから、各学校で子どもたちの育成に取り組んでいきます。

市

子どもたちに、信頼されるような教師を目指して頑張ります。



紙屋中学校 中城 友希

一貫性のある「ぶれない指導」をし、生徒たちと一緒に学んでいきたいです。



三松中学校 岩永 智典

「常に子どもたちのために」という気持ちを持って全力で頑張りたいです。



小林中学校 齊藤 規子

生徒たちの元気に負けなように、一生懸命頑張ります。



小林中学校 轟木 裕也



スポーツ SPORTS

秀峰高新体操部が全国2連覇を達成



▲市長の激励を真剣な表情で聞く



▲インターハイ優勝を決意した選手ら

第29回全国高等学校選抜大会で2連覇を果たした秀峰高校新体操部と、同じく105キロ級で3位になった同校ウエイトリフティング部の津留周平さんが4月2日に、市長を訪問し、大会の結果を報告しました。新体操部の永野護監督は、2連覇がかかっており、プレッシャーの大きな大会であったことを話し、「直前までベストな状態ではなかった。しかし、本番では子どもたちが今まで見たことのない演技をしてくれた」と振り返りました。岩下涼志主将は、「本番直前の緊張を力に変えて演技が

することができた。この勢いで、去年優勝できなかったインターハイ優勝を目指し、チーム一丸となって頑張っていきたい」と話しました。ウエイトリフティング部の津留さんは、スナッチで111キロの3位、ジャークでは、141キロを上げて2位、合計252キロで3位入賞を果たしました。津留さんは「支えてくれた人々への感謝の気持ちをこめて、大会に臨みました。3位という結果には満足していません。優勝できなかった悔しさを力に変えてインターハイでは必ず優勝します」と決意を述べました。



小林の郷土芸能①～輪太鼓踊り・永田町馬踊り～

Vol.55



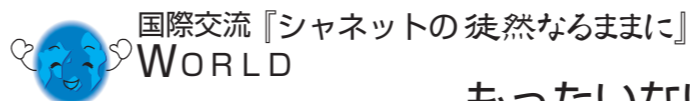
【左】細野一区輪太鼓踊り【右】東方輪太鼓踊り

輪太鼓踊り この踊りは、豊臣秀吉の朝鮮出兵から始まったと伝えられています。このとき、鳥津の軍勢は泗川の戦いで士気を鼓舞するため鐘や太鼓を打ち鳴らしつつ踊りながら敵陣に入り、奮戦しました。その勇壮な様子を舞踏化したものとされています。その後、平時の軍事訓練と



永田町馬踊り

して薩摩藩内で行われ、江戸時代の中頃には農民の間に広まって小林に伝わったとされています。昭和37年に東方地区、細野地区ともに県の無形民俗文化財に指定されています。永田町馬踊り 明治、大正のころ、谷山(鹿兒島市)・国分・隼人あたりから今の永田町へ荷馬車業者が移り住み、そこから伝えられたのが永田町馬踊りの初まりだと伝えられています。昭和51年、現在の通り町区に馬踊りがあり、その馬を借用して踊ったのを機に、昭和52年に地元有志により馬踊り保存会を発足しました。



国際交流『シャネットの徒然なるままに』

WORLD

もったいないことは？

Vol.17

約 2年9ヶ月前に、この素敵な小林にやって来ました。そのとき、運んできた大きな鞆2つの中身が、私が日本で持っている物の全てでした。実は、両親にたくさんのお宝の収納を頼んでいました。宝物ではないでも、黄金の宝物ではないでも、個人的な宝物です。5才の誕生日にももらった人形、中学校で授業中にこっそり友達と交わした手紙や昔の恋人にももらった物だったりします。人形は小さい頃から好きではないです。中学校で交わした手紙の内容はどうでもいいです。昔の恋人は訳があつて、今は恋人ではないです。ちょっと待ってください。よく考えると、収納してある宝物は、宝物ではないではなく、ガラクタです。私の「思い出」は「重い」だといきなり感じ始めました。なんで、物ってこんなに捨てにくいのでしょうか？ 「せっかくあの人がくれたから！」や、「まだ使える」、「高かった！」など、私の場合



この本も捨てることになりました

は、捨てられない理由は様々です。「もらったモノは、もらった時点で、役目は果たされている」と考えるといいです。振り返ってみると、来たときの物の少なさがすごく素敵な状態でした。何も不満なく、広いスペースを楽しんでいました。あれから、押し入れを毎日ちよつとずつ、パンパンに詰め込んできました。「もったいないこと」は、捨てることではなく、要らないものを置いておくこと。そういう風に感じ始めて、持ち物を5割減らしました。これからは断捨離をがんばります。